

ひがたかんタイムズ

2010年7月1日発行
 < 第11号 >
 大師河原干潟館運営委員会
 発行人 / 小泉 茂

カニ特集

干潟観察会のシーズン到来と共にごめきはじめるのが、多摩川河口干潟に生息するカニたち。冬の間は巣穴の中でじっとしていますが、暖かくなるとその姿を徐々に現します。



はさまれると
 いたいよ

な

大師河原干潟館周辺でも、水辺にお

りて土や砂や泥の中、石や流木

の下、ヨシ原の中を探し

てみると様々な種類のカ

ニたちに出会うことが

できます。陸に近い泥っぽ

い場所や白いハサミを振って

いるチゴガニ、砂ダンゴガ

ニ、まわりに転がっている穴

の主であるコメツキガニ、

泥の中から長い

目を出して辺り

を警戒しているオ

サガニとヤマトオサガ

ニ(写真真下)、ヨシ原の中

でカサカサと動いているア

シハラガニ(写真真上)、ベン



ケイガニ、クロベンケイガニ、カクベンケイガニ、石をひっくり返すといっせいに逃げ出してくるケフサイソガニ、砂浜の水辺をちよこちよこ歩いているマメコブシガニ。これだけでも十種類です。干潟って本当に豊かなところですね。最初のうちは皆同じ顔に見えるかもしれませんが、それぞれの住んでいる場所と環境、からだの大きい・小さい、厚い・平たい、丸い・四角い、足に毛が生えていないといつた特徴や、おとなしい・攻撃的といった性格などをつかむと、個々の違いがだんだんと分かるようになってきます。また、オスとメスの違いも見分けられるようになります。

なれば、干潟観察が更に楽しくなり、カニたちにも愛着がわくことでしょう。干潟館では毎月干潟観察会を開催していますので、みんなで多摩川河口のユニークなカニたちに会いに行きませんか。

干潟のゆかいな仲間たち



文 佐川麻理子

第11回 マメコブシガニ



夏、砂質

の干潟を歩

いている

と、小さな

卵型をした

1〜2cmぐ

らいの大き

さのカニに

出会うこと

があります。それがマメコブシガニ。まるで名前の通り手でコブシをつくったような形にも見えます。同じ干潟でも、泥干潟よりも砂浜が広がるようなところが好き。一匹でいる場合もありますが、初夏から夏にかけてはよく目にするのはやや小ぶりのオスが後ろからメスを抱えている姿です。一見すると交尾のようにも見えますが、これは気に入ったメスをオスが交尾のために前もって確保しているためで、カニなどの甲殻類に時々見られる姿です。また、このカニのユニークな様子としては、よくある「カニの横歩き」ではなく前

向きに歩くところ。後ずさりもできません。潮が引いた干潟で見つけたら、そっと拾い上げてみてください。意外におとなしくて、まるで死んだふりをしているよう。簡単に捕まえることができます。彼らも湾の中の水がきれいな干潟がだからこそ、出会える力二といえるでしょう。

★多摩川流域水辺の楽校連絡協議会

多摩川流域水辺の楽校連絡協議会が発足しました。これは、多摩川流域で活動する「水辺の楽校」と「子ども水辺」などを中心としたネットワークを通じ、上下流の交流や連携を深める目的で設立されたものです。今後、合同イベントなど様々な催しが行われますのでお楽しみに。

★第20回夏休み多摩川教室

多摩川の環境や生きものを流域の小・中学生の自由研究等に役立ててもらうため、流域自治体等が行う催しです。バラエティに富んだ出展や体験コーナーなどもあつまうので、みんなで行ってみよう。

◎日時／7月27日(火)、28日(水)

10時～15時※雨天中止(小雨決行)

◎場所／川崎市高津区二子新地地先多摩川の河川敷

◎参加費／無料

◎主催／多摩川流域協議会

◎問い合わせ／京浜河川事務所環境課

045(503)4011

http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/tama/

join/class/index.htm

★第3回エコ☆カップいかだ下り

廃材等のエコな材料でつくったいかだによる「かわさき多摩川博2010エコ☆カップいかだ下り」が開催されます。ユニークな創作イカダが集まる楽しい催しです。みなさん応援に来て下さい。

※出艇の申し込みは終了しました。

◎日時／9月5日(日) 10時～13時

※雨天の場合は12日(日)に延期。

◎大会本部／二ヶ領せせらぎ館

◎コース／二ヶ領用水宿河原堰下から多摩高等学校裏河川敷

◎主催／NPO法人多摩川エコミュージアム・川崎市

◎問い合わせ／同NPO

044(922)1025

http://www.seseragikan.com

干潟館広報

落雷や増水に注意!

●積乱雲を見たり、雷の音が聞こえたら安全な場所に避難しよう。

●豪雨や夕立による急な川の増水に注意。

大師河原干潟館イベント情報

7月10日(土) エコクラフト教室

自然素材で色々なものをつくろう!

場所／干潟館 時間／開館中

7月24日(土) 干潟観察会

何種類の生きものがみつかるかな?

場所／干潟館 時間／10時～12時

8月14日(土) エコクラフト教室

場所／干潟館 時間／開館中

8月21日(土) 干潟観察会

場所／干潟館 時間／10時～12時

※エコクラフト教室は参加費無料。

※干潟観察会の参加費(保険代含む)は、大人200円、中学生以下

100円です。各回定員25名となっております。

※申し込みが必要となります。

※干潟に下りる場合は、サンダル・素足は禁止です。長靴や汚れてもいい靴をご用意下さい。

※イベントは天候や諸事情により中止したり、内容・時間を変更することがあります。

◎問い合わせ・申込先

川崎市建設緑政局多摩川施策推進課

044(200)2268

大師河原干潟館(水・土・日・祝)

044(287)7882



大師河原干潟館 (大師河原水防センター)

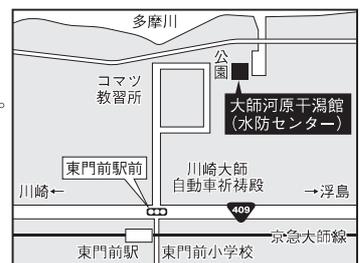
大師河原干潟館は、多摩川の自然や地域の歴史、河川防災などについての情報発信・環境学習の市民活動拠点です。多摩川初の河川防災基地・大師河原河川防災ステーション内にある大師河原水防センターの一部を利用し、市民グループで構成する運営委員会が管理・運営を行っています。

◆開館日／水・土・日・祝日 10:00～16:00

◆アクセス／京浜急行大師線「東門前駅」下車、徒歩7分

〒210-0811 川崎市川崎区大師河原 1-1-15

※駐車場はございませんので、来館には公共交通機関をご利用下さい。



入館無料

生きものカードプレゼント中!

◆お問い合わせ(水・土・日・祝)／大師河原干潟館

Tel: 044-287-7882 Fax: 044-287-7883

◆お問い合わせ(平日)／川崎市建設緑政局緑政部多摩川施策推進課

Tel: 044-200-2268 Fax: 044-200-7703 Email: 53tamasu@city.kawasaki.jp

ひがたかんタイムズ

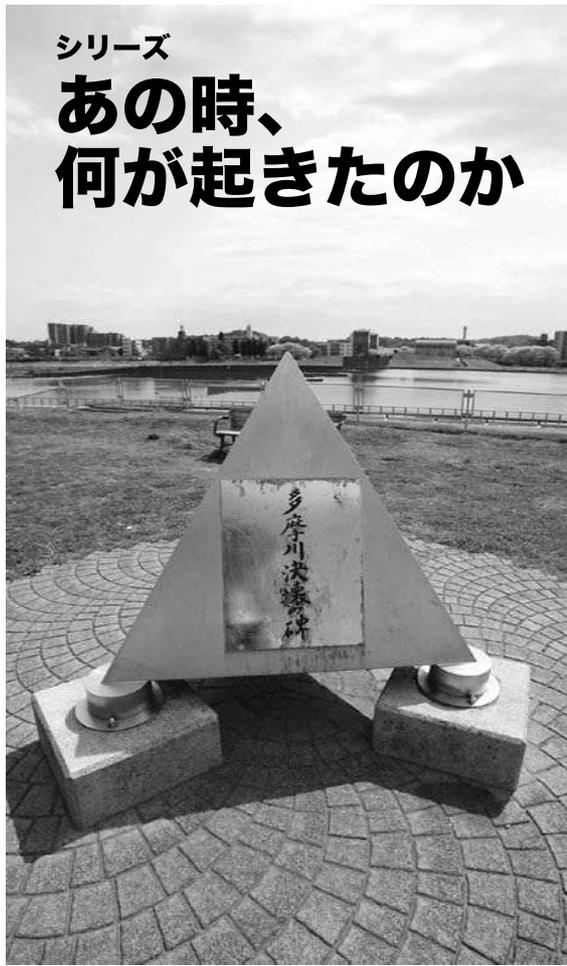
2010年9月1日発行
 < 第12号 >
 大師河原干潟館運営委員会
 発行人 / 小泉 茂

堤防 決壊

川崎市多摩区にある二ヶ領宿河原堰管理所（二ヶ領せせらぎ館）対岸の東京都狛江市河川敷に三角錐の碑が建てられている。これが三六年前に大きな被害をもたらした多摩川水害の教訓を後世に伝えるため、平成十一年（一九九九年）に建立された多摩川決壊の碑である。

昭和四十九年（一九七四年）八月二六日にサイパン島付近で発生した

多摩川決壊の碑 東京都狛江市で



シリーズ あの時、 何が起きたのか

台風十六号の影響により、三一日から九月一日にかけて多摩川上流域に集中して強い雨が降り続けた。貯水量の限界を越えた小河内ダムの放流から発生した出水は、その水流の妨げとなった二ヶ領宿河原堰の一部を破壊しはじめ、激しい迂回流による堤防の浸食と河床の洗掘が進んだ末、ついに本堤防が決壊したのである。懸命な水防活動も虚しく、狛江市猪方地区の民家が次々と倒壊し激流の中に消え、被害は更に広がっていった。二日、自衛隊により二ヶ領宿河原堰の固定部を爆破し、堤防を直撃する激流の方向を変える作戦が立てられ、大雨洪水注意報が発令される中、位置を変えながら作業が続けられた。そして四日、十三回に及ぶ爆破により大きな破壊口が開き水が流れはじめたのである。三日間に渡り十九棟の倒壊流出、三十世帯に被害をもたらしたこの多摩川水害の様子は、マスメディアによりリアルタイムで全国に報道され、水害の恐ろしさを人々に見せつけたのであった。

新しい二ヶ領宿河原堰は平成十年（一九九八年）に完成し、この多摩川決壊の碑は今もその傍らで川の流れて人々の生活を見守っている。

干潟のゆかいな仲間たち



文 佐川麻理子

第12回 チチブ



ハゼの仲間であたの名をダボハゼ。ハゼ釣りの愛好家からすると、いわゆる外道。頭でっかちでずんぐりとした魚体。黒ずんだ体色。見た目あまりおいしそうではありません。しかしマハゼと一緒に天ぷらにして食べると意外に美味。白身で淡白で臭みがありません。さて、こんなチチブの暮らしぶりはというと、川底の石などがごろごろしているような場所など、平坦よりもやや複雑な地形が好きで、小魚や藻など何でも食べる雑食性です。釣りではゴカイやミミズなど生きているエサによくかかりますが、水槽で飼育していると、小魚や子エビや時には自分の体と同じ位のエビにも食らいついていく様子が見られます。初夏か

だいし水辺の楽校開校!

川崎市で三校目の「水辺の楽校」となる、だいし水辺の楽校が開校します。開校式とハゼつり大会を開催しますのでみなさんご参加下さい。

- ◎日時／9月18日(土) 13時～16時 ※雨天中止
- ◎集合場所／干潟館
- ◎参加費／300円(保険代、つりエサ代含む)
- ◎定員／30名 ※先着順
- ◎申込／干潟館へFAXで
- ◎申込締切／9月10日(金)
- ◎持ち物／つり道具(無い場合は一家族一セットレンタル)、クーラーボックス、飲物、長靴、帽子、タオルなど

ら夏にむけて、オスがメスを誘い石やコンクリートの側面などに卵を産みつけさせます。白いつぶつぶした卵を守るのはオスの役目。近寄ってきた他の魚を追い払うのに忙しくなかなが自分がエサを食べることができません。寿命は約一年とつわれ、産卵を終えた彼らはやがてその多くが死んでしまいますが、時には年を越したと思われる10cm以上に育ったチチブに出会うことがあります。

★干潟館ウェブサイト開設

干潟館の公式ウェブサイトができました。川崎市からの水防情報、館の案内やイベント情報、ひがたかんタイムズなどを掲載しています。みなさんどんどんアクセスしてね。
<http://www.tamariver.info/higatakan/>

★第35回多摩川流域セミナー

多摩川の川づくりの総点検第二弾として、水流の不思議を日野市の湧水保全の取り組みから学びます。

- ◎日時／10月2日(土) 12時～17時
- ◎集合場所／JR中央線日野駅
- ◎コース／黒川清流公園～図書館下湧水群～平山季重ふれあい館
- ◎参加費／200円(保険料など)
- ◎定員／50名 ※要申込
- ◎持ち物／飲物、雨具、タオルなど
- ◎主催／多摩川流域懇談会
- ◎問い合わせ・申込先／NPO法人多摩川エコミュージアム

TEL 044(922)1025
 Eメール npo@seseragikan.com

9月は防災月間です

●地震や台風大雨に備えましょう。
 ●避難場所の確認、非常持ち出し袋や備蓄品を点検しましょう。

大師河原干潟館イベント情報

9月11日(土) エコクラフト教室
 自然素材で色々なものをつくろう!
 場所／干潟館 時間／開館中
 9月18日(土) ハゼつり大会
 だいし水辺の楽校開校式もあるよ!

場所／干潟館 時間／13時～16時
 10月3日(土) エコクラフト教室
 場所／干潟館 時間／開館中
 10月16日(土) 干潟観察会
 場所／干潟館 時間／10時～12時
 ※エコクラフト教室は参加費無料。

※干潟観察会の参加費(保険代含む)は、大人200円、中学生以下100円です。各回定員25名となっておりますので、参加希望の方は事前にお申し込みが必要となります。
 ※干潟に下りる場合は、サンダル・素足は禁止です。長靴や汚れてもいい靴をご用意下さい。
 ※イベントは天候や諸事情により中止したり、内容・時間を変更することがあります。

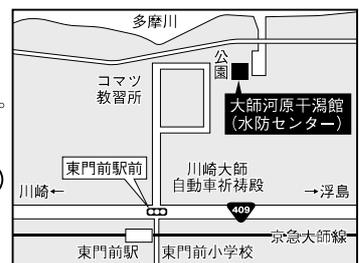
◎問い合わせ・申込先
 川崎市建設緑政局多摩川施策推進課
 TEL 044(200)2268
 大師河原干潟館(水・土・日・祝)
 TEL 044(287)7882



ひがた 大師河原干潟館 (大師河原水防センター)

大師河原干潟館は、多摩川の自然や地域の歴史、河川防災などについての情報発信・環境学習の市民活動拠点です。多摩川初の河川防災基地・大師河原河川防災ステーション内にある大師河原水防センターの一部を利用し、市民グループで構成する運営委員会が管理・運営を行っています。

◆開館日／水・土・日・祝日 10:00～16:00
 ◆アクセス／京浜急行大師線「東門前駅」下車、徒歩7分
 〒210-0811 川崎市川崎区大師河原 1-1-15
 ※駐車場はございませんので、来館には公共交通機関をご利用下さい。



入館無料

生きものカードプレゼント中!

◆お問い合わせ(水・土・日・祝)／大師河原干潟館

Tel: 044-287-7882 Fax: 044-287-7883

◆お問い合わせ(平日)／川崎市建設緑政局多摩川施策推進課

Tel: 044-200-2268 Fax: 044-200-7703 Email: 53tamasu@city.kawasaki.jp

<http://www.tamariver.info/higatakan/>

ひがたかんタイムズ

ハゼを釣る参加者 川崎市大師河原で

2010年11月1日発行
 < 第13号 >
 大師河原干潟館運営委員会
 発行人 / 小泉 茂



だいし水辺の楽校

川崎市内で三校目、
 多摩川流域で十八校
 目となる水辺の楽校
 が大師河原地区に開
 校しました。

開校!

九月十八日、だいし水辺の楽校の開校式が大師河原水防センター（大師河原干潟館）で行われました。かわさき水辺の楽校（多摩区）、とどろき水辺の楽校（中原区）に続く、川崎市内で三校目となるこの水辺の楽校では、大師河原水防センターを拠点とし、河口域ならではの自然環境を活かした、干潟観察・野鳥観察・植物観察・エコクラフト教室・河川清掃など様々な活動が計画されています。開校式の後には、早速目の前の水辺に出てハゼ釣りを開始。魚釣りがはじめての参加者や小さなお子さんも多かったのですが、ボランティアスタッフの指導により、ハゼだけでなく、コトヒキやマルタウグイの稚魚などたくさん釣りをあげ、楽しいひと時を過ごしました。

大師河原水防センター運営委員会は、この水辺の楽校に対する支援を行い、身近な自然の豊かさ、水辺の楽しさや怖さ、安全の大切さなどを多摩川を通して共に子どもたちに伝えていきます。干潟館に青いのぼりが立っている日が水辺の楽校の活動日です。みなさんも一緒に新しい水辺の楽校を育てていきませんか？

<http://www.tamariver.info/daishi/>

干潟のゆかいな仲間たち



第13回 ヒドリガモ

文・写真 佐川麻理子



冬が近づくと、多摩川河口の干潟には遠い北の国からヒドリガモの群れがやってきます。はじめ

はオスもメスも同じような茶色の羽色をしています。しだいにオスはひたいがクリーム色になり背中からわき腹にかけては筋模様が入った灰色、胸はレンガ色と鮮やかな羽に変わります。他の種類のカモよりもやや短めな灰色で先が黒いくちばしは、大好きな草や海草を食べやすいためとも考えられています。ふだんは水の上を群れて泳ぎまわっていますが、ときおり芝生の草などを食べずに河原やグラウンドの上にながたってきます。大きな群れているときは安心しているのか、わりとそばまで近寄ることが出来ます。また群れの中を

よく見ていると、顔の色が緑がかったように見えてきた「アメリカヒトリ」を見つけたことあります。やがて冬の気配が増してくると、潮が満ちて湖のようになった干潟に、群れをひきいたオスの「ピューイ」という甲高いすんだ声が響きわたるようになります。

★エコ☆カップいかだ下りに出場

かわさき多摩川博2010第三回エコ☆カップいかだ下り（NPO法人多摩川エコミュージアム、川崎市主催）が九月五日、多摩川の二ヶ領宿河原堰下で開催され、干潟館からひがたG・R・L・S号とひがたBOYS号の二艇が参加しました。写真。惜しくも入賞は逃したものの、それぞれ川の流れを楽しみました。



★第三回多摩川流域市民学会

「源流の課題は私達の課題」をテーマに、奥多摩町を会場として、二日間、渡り市民科学の実践とその発表、交流会などが行われます。

マに、奥多摩町を会場として、二日間、渡り市民科学の実践とその発表、交流会などが行われます。

- ◎日時／11月20日（土）、21日（日）
- ◎会場／国民宿舎鳩ノ巣荘他
- ◎参加費／1,000円（宿泊費別）
- ◎主催／第三回多摩川流域市民学会実行委員会

◎問い合わせ・申込先／みずとみどり研究会

☎042(327)3169

メール nizumidoriken@ydr.ne.jp

★多摩川博開催のお知らせ

かわさき多摩川博2010シンポジウムが開催されます。本年度のテーマは「多摩川の歴史」。三輪修三氏（歴史研究家）の講演の他、エコ☆カップいかだ下りの映像上映など、この一年間の報告もあります。みなさんは是非ご参加下さい。

◎日時／12月11日（土）12時～17時

◎会場／エポックなからはら大会議室

◎参加費／無料（申込不要）

◎主催／川崎市・NPO法人多摩川エコミュージアム

◎問い合わせ／NPO法人多摩川エコミュージアム

☎044(922)1025

メール nppo@seseragi.kan.com

大師河原干潟館イベント情報

11月13日（土）エコクラフト教室

自然素材で色々なものをつくろう！

場所／干潟館 時間／開館中

11月20日（土）干潟観察会

だいし水辺の楽校と合同です。

場所／干潟館 時間／10時～12時

12月18日（土）エコクラフト教室

クリスマスリースをつくろう！

場所／干潟館 時間／10時～12時

※干潟観察会の参加費（保険代含む）は200円です。定員25名となっております。

※干潟に下りる場合は、サンダル・素足は禁止です。長靴や汚れてもいい靴をご用意下さい。

※イベントは天候や諸事情により中止したり、内容・時間を変更することがあります。

◎問い合わせ・申込先

川崎市建設緑政局多摩川施策推進課

☎044(200)2268

大師河原干潟館（水・土・日・祝）

☎044(287)7882

◎年末年始休館期間

12月27日（月）～1月7日（金）

ひがた 大師河原干潟館（大師河原水防センター）

大師河原干潟館は、多摩川の自然や地域の歴史、河川防災などについての情報発信・環境学習の市民活動拠点です。多摩川初の河川防災基地・大師河原河川防災ステーション内にある大師河原水防センターの一部を利用し、市民グループで構成する運営委員会が管理・運営を行っています。

◆開館日／水・土・日・祝日 10:00～16:00

◆アクセス／京浜急行大師線「東門前駅」下車、徒歩7分

〒210-0811 川崎市川崎区大師河原1-1-15

※駐車場はございませんので、来館には公共交通機関をご利用下さい。



◆お問い合わせ（水・土・日・祝）／大師河原干潟館

Tel: 044-287-7882 Fax: 044-287-7883

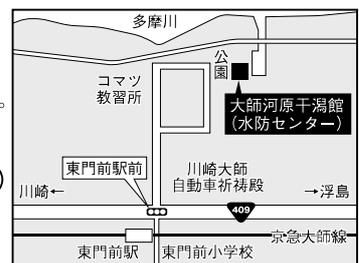
◆お問い合わせ（平日）／川崎市建設緑政局緑政部多摩川施策推進課

Tel: 044-200-2268 Fax: 044-200-7703 Email: 53tamasu@city.kawasaki.jp

http://www.tamariver.info/higatakan/

入館無料

生きものカードプレゼント中！



ひがたかんタイムズ

2011年1月12日発行
＜ 第14号 ＞
大師河原干潟館運営委員会
発行人 / 小泉 茂

隠れたパワースポット？

年末年始は何かとお酒を飲む機会が多いシーズンである。浴びるよう
に飲む方も、たしなむ程度の方もそ
れぞれ楽しんで過ごしたことがら
う。実は大師河原水防センターが建
つこの大師河原の地は、お酒と深い

関わりを持っている場所なのだ。

寛文七年（一六六七）に江戸と
京都で刊行され、その当時話題と
なった「水鳥記」という物語をご
存じだろうか。これは、慶安二年
（一六四九）に大師河原の名主であつ

大師河原一丁目公園に植樹された松 川崎区大師河原で



た池上太郎右衛門幸広のもとに江戸
の医者で儒学者の茨木春朝とその仲
間たちが乗り込み、三日三晩競われ
た酒合戦を史実に基づきおもしろお
かしい仮名草子として刊行したもの
である。酒合戦は平成七年（一九九五
年）に「水鳥の祭」として再現され、
毎年十月に川崎大師平間寺と若宮八
幡宮などを会場とし、それぞれの扮
装をした参加者によるユーモラスな
問答と酒合戦が行われている。

この酒合戦の副将を務めた石渡四
郎兵衛底広の屋敷が現在の大師橋近
くにあり、その門前に「末広の松」
と呼ばれ、江戸名所図会にも描かれ
た松の木が立っていた。この松の枝
には「下戸の輩渡るべからず」と書
かれた札が下げられていたという。

その「末広の松」にあやかり、大
師河原水防センター開館式が行われ
た平成一九年（二〇〇七年）一二月
一六日、隣接する大師河原一丁目公
園に多摩川流域懇談会からの寄贈に
よる松の木が植樹された。噂による
とこの松の木が最近流行のパワース
ポット（どんなパワーが得られるの
かは不明である）として話題になっ
ているとかいはないか？ 信じるか
信じないかはあなた次第です。

干潟のゆかいな仲間たち



文・写真 佐川麻理子

第14回 キンクロハジロ



冬の多摩

川河口。川
の真ん中あ
たりで群を
つくってい
るカモたち
の中にキン
クロハジロ
がいます。

メスは全体に茶色がかっていてわず
かに背中が黒っぽい羽色ですが、オ
スは黒色と白色がはっきりと分か
れていて見分け方は簡単。また良く
似たスズガモは、キンクロハジロに
あるピョンと飛び出した頭の羽があ
りません。目は金色で顔から胸にか
けては真っ黒。白いつばさの羽がま
さに名前の通りキンクロハジロ。水
面にプカプカ浮かんでいたかと思っ
と、首をヒョイッとまげ上手に潜水
して、大好きな魚や貝や水草を獲っ
ています。普段はいつも川の中央付
近にいたことが多くて、あまり目に
つきにくい彼らですが、実は意外に

たくさんの数でやってきています。カモの仲間には陸にあがるヒドリガモやオナガガモなどと、水面にいるホシハジロやスズガモなどと分かれませんが、彼らキンクロハジロもほとんど水面から上がることはありません。またあまり海の沖よりも、河川や湖、池にすることがおおく、ここ多摩川河口も彼らにとって大好きな場所の一つなのでしょう。

★来館者二万人突破

大師河原干潟館の来館者数が平成二二年十一月七日に二万人を突破しました。二万人目となったみなさんには記念品を贈呈させていただきました。写真。はい、ピース。



★二ヶ領用水竣工四百年記念

川崎を育んだ二ヶ領用水が竣工してからまもなく四百年を迎えます。本年（平成二三年）二月一日の節目のときへ向け、四百年記念事業実行委員会が結成され、様々な活動を行ってきました。その集大成として記念シンポジウムが開催されます。二ヶ領用水のうたとフォトコンテストの発表、清流亭一門会による落語、村松昭氏（絵本作家）による基調講演、小学生の学習発表、各分科会の活動報告など内容は盛りだくさん。みなさんは是非ご参加下さい。

◎日時／2月27日（土）12時～17時
◎会場／中原市民館
◎参加費／無料（申込不要）
◎主催／二ヶ領用水竣工四百年記念事業実行委員会・川崎市
◎問い合わせ／NPO法人多摩川工コミュニケーション
☎044（922）1025
メール npo@seseragikan.com
<http://www.seseragikan.com/>

干潟館広報 火災に注意！

● 河川敷での直火使用は禁止です。
● 葦原附近でのタバコの吸がらの投げ捨て、焚き火・火遊びはやめましょう。

大師河原干潟館イベント情報

1月15日（土）エコクラフト教室
自然素材で色々なものをつくろう！
場所／干潟館 時間／開館中
1月22日（土）だいし水辺の楽校
凧（たこ）つくり教室

場所／干潟館 時間／11時～14時
2月5日（土）エコクラフト教室
場所／干潟館 時間／開館中
2月19日（土）だいし水辺の楽校
自然観察会（予定）

場所／干潟館 時間／10時～12時
※「だいし水辺の楽校」の参加費（保険代など含む）は200円です。定員30名となっていますので、参加希望の方は事前にお申し込みが必要となります。

※干潟に下りる場合は、サンダル・素足は禁止です。長靴や汚れてもいい靴をご用意下さい。
※イベントは天候や諸事情により中止したり、内容・時間を変更する場合がございます。

◎問い合わせ・申込先

川崎市建設緑政局多摩川施策推進課

☎044（200）2268

大師河原干潟館（水・土・日・祝）

☎044（287）7882

ひがた 大師河原干潟館（大師河原水防センター）

大師河原干潟館は、多摩川の自然や地域の歴史、河川防災などについての情報発信・環境学習の市民活動拠点です。多摩川初の河川防災基地・大師河原河川防災ステーション内にある大師河原水防センターの一部を利用し、市民グループで構成する運営委員会が管理・運営を行っています。

◆開館日／水・土・日・祝日 10:00～16:00

◆アクセス／京浜急行大師線「東門前駅」下車、徒歩7分

〒210-0811 川崎市川崎区大師河原 1-1-15

※駐車場はございませんので、来館には公共交通機関をご利用下さい。



◆お問い合わせ（水・土・日・祝）／大師河原干潟館

Tel : 044-287-7882 Fax : 044-287-7883

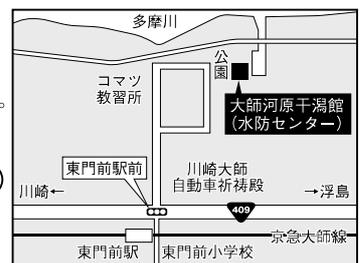
◆お問い合わせ（平日）／川崎市建設緑政局多摩川施策推進課

Tel : 044-200-2268 Fax : 044-200-7703 Email : 53tamasu@city.kawasaki.jp

<http://www.tamariver.info/higatakan/>

入館無料

生きものカードプレゼント中！





2011年3月1日発行
 < 第15号 >
 大師河原干潟館運営委員会
 発行人 / 小泉 茂

多摩川のゴミを考える

河川敷に不法投棄されたゴミ川崎区殿町で



河川敷や干潟に降りると、河口の豊かな生きものたちの姿やダイナミックな風景を見ることができると同時に残念な景観も目に入ってくる。土手の下に廃棄されたゴミ、橋の下に山積みになったゴミ、葦に引っかけたゴミ、干潟に漂着したゴミ…。それらは自然界に溶け込むことはなく、不快感と腐敗臭を放っている。特に目立つのが不法投棄であり、多摩川の場合は何度撤去を繰り返しても半年後には元の木阿弥というのが現状だ。マナー啓発の広報、カメラによる監視、投棄抑制に向けた鳥居の設置、警察による取り締まりなど、国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所と沿川自治体による対策が進められているもの、一向に改善される様子は見られない。河口

域の場合は不法投棄だけでなく、大雨の際に上流から流れてくるものや満潮時に海から上がってくるゴミなどもある。河川敷を利用する人間が引き起こす迷惑行為として、高津区が多摩川河川敷で問題となったバーベキューによるゴミなども元凶のひとつだ。川崎市がその対策として昨年九月に行った社会実験の結果、平成二三年四月から有料バーベキュー場を設置することとなり、その利用料は警備及びゴミ処理費用に充てられることになる。また、京浜河川事務所の発表によると、平成二一年度は約二千万円ものゴミ処理費用がかかったという。これらはすべて税金で賄われているということ忘れてはならない。これらは都市河川の持つ永年の課題のひとつであり、行政だけでなく市民の手による清掃活動も行われているが、それにも限界がある。ゴミは景観の問題のみならず、確実に多摩川の自然環境や生態系に影響を与えており、それは川に留まらず海洋環境へもつながっているのだ。「川にゴミを捨てない」という当たり前のことをひとりひとりが実践する。それを説いて行くことしか改善策は無いのであろうか。

干潟のゆかいな仲間たち



第15回 カワウ

文・写真 佐川麻理子



広い多摩

川河口の川面を隊列を組んで悠々と泳ぐ黒い鳥の一群。とつぜん一羽が魚を獲られようと

水中に潜ったかと思うと、次々と他の鳥たちもそれに続きます。彼らはカワウ。木や電線に止まっている姿はまるでカラスのよう。でもよく見ると、カラスよりも首やくちばしが長く、羽色にもやや光沢があります。お天気の良い日などには大きな羽をゆらゆらとめいっばいに広げて干潟で日向ぼっこしている姿を見かけることも。ふつと鳥たちには羽にたっぷり脂肪があり、濡れにくくなっています。カワウにはあまり脂肪がありません。そのために頻繁に乾かす必要があるのです。主な産卵期は十一月から翌年の六月ごろとほぼ一

年中繁殖します。大きな魚をくわえて飲み込むのに四苦八苦している姿はとても愛嬌者。丸ごこの魚を文字通り鵜のみにします。大群で魚を捕らえたり、フンで水辺の木々を真っ白にしたりと、嫌われ者の一面もありますが、都市化などによる繁殖地の減少など彼らがくらしでいける環境が豊かにあるとは決して言い切れないのかもしれない。

★二ヶ領用水竣工四百年記念シンポ

本年三月一日に竣工四百年を迎えた二ヶ領用水。その記念シンポジウムが二月二十七日、中原区の中原市民館で開催され、約五百人が参加しました。当日は、アマチュア落語家・清流亭いしあたまさん一門による二ヶ領用水をテーマとした創作落語、市立井田小学校の児童による二ヶ領用水の学習発表、主催者である二ヶ領用水竣工四百年記念事業実行委員会の各分科会代表者による発表と意見交換などが行われました。

★第七回多摩川桜のコンサート

かわさき多摩川博2011の一環として、多摩川桜のコンサートが開催されます。七回目を数える今回は、第一部「癒しの多摩川」にユニッ

ト二ヶ領（オカリナと篠笛）と林敏（揚琴）、第二部「青空ミュージカル」に友石竜也となかま達が出演します。特別出演は稲田中学校チャダンス部と菅生DOT15キッドピックスです。皆さん是非ご参加下さい。

◎日時／4月2日（土）13時～16時
◎会場／二ヶ領せせらぎ館前広場
◎参加費／無料（申込不要）

◎主催／川崎市・NPO法人多摩川エコミュージアム
◎問い合わせ／NPO法人多摩川エコミュージアム

☎044（922）1025
メール nppo@seseragikan.com / <http://www.seseragikan.com/>

★バーベキューが有料に
四月一日から、二子橋周辺の多摩川河川敷（高津区瀬田地先）でのバーベキューが有料になります。使用料はひとり500円（六歳以上）、利用時間など詳しくは川崎市のウェブサイトをご覧ください。
<http://www.city.kawasaki.jp/>

干潟館広報
フィールドマナーを守ろう

- 自然観察は譲り合いの心が大切です。
- 人や自然に気を配り、ゴミは必ず持ち帰りましょう。

大師河原干潟館イベント情報

3月5日（土）エコクラフト教室
自然素材で色々なものをつくろう！
場所／干潟館 時間／開館中

3月19日（土）だいし水辺の楽校
春の草つき／野草の天ぷら
場所／干潟館 時間／10時～13時

4月2日（土）エコクラフト教室
場所／干潟館 時間／開館中

4月16日（土）だいし水辺の楽校
平成三三年度開校式・干潟観覧会
場所／干潟館 時間／10時～12時

※「だいし水辺の楽校」の参加費（保険代など含む）は200円です。定員30名となっておりますので、参加希望の方は事前にお申し込みが必要となります。

※干潟に下りる場合は、サンダル・素足は禁止です。長靴や汚れてもいい靴をご用意下さい。

※イベントは天候や諸事情により中止したり、内容・時間を変更することがあります。

◎問い合わせ・申込先

川崎市建設緑政局多摩川施策推進課

☎044（200）2268

大師河原干潟館（水・土・日・祝）

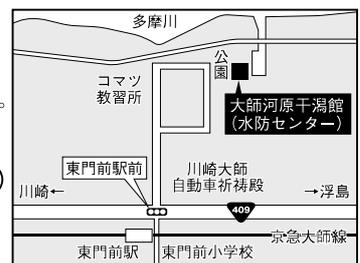
☎044（287）7882



ひがた
大師河原干潟館（大師河原水防センター）

大師河原干潟館は、多摩川の自然や地域の歴史、河川防災などについての情報発信・環境学習の市民活動拠点です。多摩川初の河川防災基地・大師河原河川防災ステーション内にある大師河原水防センターの一部を利用し、市民グループで構成する運営委員会が管理・運営を行っています。

- ◆開館日／水・土・日・祝日 10:00～16:00
- ◆アクセス／京浜急行大師線「東門前駅」下車、徒歩7分
〒210-0811 川崎市川崎区大師河原 1-1-15
※駐車場はございませんので、来館には公共交通機関をご利用下さい。



入館無料

生きものカードプレゼント中！

◆お問い合わせ（水・土・日・祝）／大師河原干潟館

Tel：044-287-7882 Fax：044-287-7883

◆お問い合わせ（平日）／川崎市建設緑政局多摩川施策推進課

Tel：044-200-2268 Fax：044-200-7703 Email：53tamasu@city.kawasaki.jp

<http://www.tamariver.info/higatakan/>